

平成 24 年 3 月 11 日

平成 24 年度 主な規則の変更について

1. 日本バスケットボール協会競技規則 2011 年版の説明

1) フロントコートに進んだことの要件

- 1) ボールがフロントコートに触れたとき
- 2) ボールがフロントコートに両足が触れている攻撃側プレイヤーに触れたとき
- 3) ボールがフロントコートにいる防御側プレイヤーに触れたとき
- 4) ボールがフロントコートにいる審判に触れたとき
- 5) ドリブルでフロントコートに進めているときはドリブラーの両足とボールがフロントコートに触れたとき

2) 24 秒の操作の件

- 1) スローインの時は、コートにいるプレイヤーに触れたときに計り始める。
- 2) フロントコートでスローインが行われる場合は、24 秒計は、計測して計る。
- 3) 2) で残りが 13 秒以下の場合は 14 秒にリセットする。

3) スローインライン

第 4 ピリオド、及び延長時間の残り 2 分間にタイムアウトが認められ、バックコートからスローインで再開する場合は、フロントコートのスローインラインのアウトオブバウンズからスローインを行う。

4) ノーチャージセミサークル

- 1) ボールをコントロールしてバスケットに向かってドライブした攻撃側プレイヤーがボールを持ってジャンプして、ノーチャージセミサークルを横切ること。
- 2) そのプレイヤーがショット又はパスをしようとする事。
- 3) 床に降りる前、降りた後に防御側プレイヤーに突き当たって触れあいを起こしたとき
- 4) 触れあいが起こった時に防御側プレイヤー両足がノーチャージセミサークルの内側にあったこと

以上の要件が揃った時にはチャージングは宣せられない。

5) ゴールと点数

ボールをつかんでショットをするためには、残り 0.3 秒以上なければならない。

6) フリースローのバイオレーション

フリースローシューターと相手側プレイヤーが同時にバイオレーションを起こした場合は、ジャンプボールシチュエーションとなる。

7) その他

その他は財団法人日本バスケットボール協会競技規則 2010 年版による。